

芹 沢 銈 介 美 術 工 芸 館

再開記念「北国の染織」

2012年4月4日(水)～7月7日(土)

当館は昨年の東日本大震災によって休館を余儀なくされ、半年前から一部開館しておりましたが、この4月からようやく全館オープン運びとなります。全館再開を記念し、今回は主に東北と北海道の染織品を紹介することで、北国の伝統文化を振り返ってみます。

雪深く厳寒な北国は、その厳しさゆえに丈夫な材料をもとめ、時間をかけてその製作に取り組みました。自生する樹木や植物の性質を知り利用することは技術を育み、その土地独特の産物となっていくます。「農民芸術の華」と呼ばれるまでになった津軽のこぎん刺しは、麻布に白木綿糸で祈りの文様を刺し綴る清廉な晴れ着です。充分に与えられなかった木綿糸を大事に使った証でもあります。南部の紫根染めや茜染めは鎌倉時代から続く染めの伝統を守ってきた染色です。日本海側の漁師に伝わるオロコギと呼ぶ仕事着は、反古紙を使った水に強く乾きが早い丈夫なものが作られました。寒い冬に耐えられるようゼンマイのワタを利用して厚く保った夜着、婚礼行列の際に樽を背負うために美しく編まれた祝いけらなどが残されています。また、アイヌ民族ではイラクサやオヒョウの皮を繊維にして織った衣裳が作られました。そこに施されたアップリケは文様によって出身がわかるといいます。このように北国は日本の中でも固有な染織文化を残している地域といえるのではないのでしょうか。

これらのすぐれた手仕事の数々は、北国の生活文化とその歴史に関わる資料としても重要であり、現代を生きる私達に新しい可能性を示唆してくれるものといえましょう。多くの尊いものが失われ、悲しみにつつまれた未曾有の災害から立ち直るために、今まさにアイデンティティとしての郷土への誇りが求められているのではないのでしょうか。展覧会を通して先人たちの遺してくれた豊かな北国の文化を再考し、震災を乗り越える原動力となればと思います。



津軽こぎん長着（西こぎん）
青森県 20世紀

- 併設展示 「芹沢銈介作品―北国の文様―」
「猪口と飯茶碗」「明治・大正のガラス器」

【関連事業】

◆型絵染講習会（はじめての方限定・初級コース）

日時：5月26日(土) 10:00～15:00

講師：土手武彦氏・土手千鶴子氏（土手型染工房）

定員20名 材料費3000円

応募方法：往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記し、ご応募下さい。

5/15必着。往復はがき1枚につき1名様をお願いします。応募
多数の場合は抽選。定員に満たない場合は前日まで電話で受付い
たします。

◆工芸館講座「北国の染織」 各10:30～11:30

①6月2日(土)「東北と被衣」^{かづぎ} 奈良 綾

②6月16日(土)「南部領の馬飾り」 本田秋子

③6月30日(土)「津軽こぎん刺し」 濱田淑子

※4/4より電話にて予約受付します

◆ワークショップ「こぎん刺しのしおりを作ろう」

会期中の毎週 火・土曜日 各11:00～15:00まで（休館日は除く）

受付時間11:00～15:00(所要時間 30～60分) 材料費200円

◆ギャラリートーク 4月28日(土)、7月7日(土) 各11:00～

◆芹沢銈介生誕祭 5月7～12日

※福祉大各サークルによる茶会・ミニコンサートや工芸館ワークショップを
毎日開催

詳しくはお問い合わせを。

- ◇ 1F ミュージアムショップ ◇ 5F カフェ可否館
(スクーリングの空き時間等にぜひご利用下さい。)

開館時間 10:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日 日・祝日、5/1、5/2

入館料 福祉大生は無料です。学生証を受付カウンターに提示して下さい。

問い合わせ TEL022-717-3318

ホームページ <http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/>